別記様式の表1及び表2を次のように改める。

表1　食品廃棄物等の発生量（①＝⑥＋⑦＋⑧＋⑨＋⑩）

業　　種	発　生　量（t）
合　　計	
発生量の把握方法	

表2　食品廃棄物等の発生量と密接な関係をもつ値（②）

業　　種	売　上　高、　製　造　数　量　等		
	名　　称	単　　位	値
	名　　称	単　　位	値

別記様式の表4から表12までを次のように改める。

表4　食品廃棄物等の発生抑制の実施量（④＝（⑤－③）×②）

業　　種	平成19年度発生原単位（⑤＝平成19年度の①÷平成19年度の②）	発生抑制の実施量（t）（④）
合　　計		

表5　食品循環資源の再生利用の実施量（⑥）

業　　種	特定肥飼料等の種類	再生利用の実施量（t）
	小　　計	
	小　　計	
合　　計		
総　　計		

表6　都道府県別の食品廃棄物等の発生量及び再生利用の実施量

業種	都道府県名	発生量（t）	再生利用の実施量（t）						
			合計	肥料	飼料	炭化の過程を経て製造される燃料・還元剤	油脂・油脂製品	エタノール	メタン
	小計								
	小計								
合　計									

表7　食品循環資源の熱回収の実施量（⑦）

業　　種	熱回収の実施量（t）
合　　計	

表8　食品廃棄物等の減量の実施量（⑧）

業　　種	減量の実施量（t）
合　　計	